

1. 中学校での目標

- (1) 毎日の生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、言語文化に親しんだり理解したりできる力をつけます。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力をつけます。
- (3) 言葉がもつ価値を知り、読書を生活に役立てて、言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う態度を養います。

2. 教材

教科書：国語2（光村図書） 中学書写1・2・3年（光村図書）

ワークシート ファイル(授業プリントを綴じる)

ワークブック：新・基礎の学習（新学社） 漢字ワーク：漢字マスター（学宝社）

文法ワーク：つまづかない文法の学習（新学社）

※ワーク類（基礎の学習、文法）・・・必要な時学校へ持ってくる）

3. 授業の受け方

- ・音読をはじめとした「読む」ことを大切にしよう。
- ・漢字語句の学習は計画的に進めて、「読み」「形」「意味」の要素をバランスよく身につけよう。
- ・ペア学習やグループ学習の場面では、お互いの意見を出し合い、共通点と相違点を確認しよう。
- ・ワークを有効に活用し、具体的な学習課題を整理しよう。
- ・スピーチや作文の学習場面では、前回までの自分と比較し自信につなげていこう。
- ・教科書以外の材料（新聞など）からもいろいろな視点で国語に関わる力を伸ばそう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ①「音読」を予習復習の柱とし、視覚と聴覚を活用して日本語のすばらしさをさがそう。
- ②漢字語句に関する学習は、「読める」「書ける」「意味が分かる」の3要素を大切にして、計画的に学習を行おう。
- ③単元が終わったら、ワークブックで授業の復習をしよう。
- ④記述式問題にもチャレンジし、自分の書けた答えを大切にしよう。
- ⑤「みんなの学習クラブ」を積極的に活用しよう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	漢字語句をはじめとして、社会生活に必要な国語について、その特徴を理解し適切に使っているか。	単元テスト 定期テスト
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの学習場面において、社会生活における人とかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	定期テスト ワークシート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	言葉を通じて積極的に人とかかわり、思いや考えを深めながら、言葉が持つ価値を身につけようとしているか。	「けテぶれ」 ワークシート 振り返りシート 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・詩 ・小説 ・古文 ・漢字語句 ・説明文 ・短歌 ・随筆 ・文法 ・読書 ・スピーチ ・作文 ・書写
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・随筆 ・漢字語句 ・説明文 ・詩 ・古文 ・文法 ・説明文 ・読書 ・スピーチ ・作文 ・書写
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・文法 ・詩 ・漢字語句 ・スピーチ ・作文 ・書写

1. 中学校での目標

- (1) 社会的な事物について理解するために、資料(インターネット等)から情報を集める力を身につけます。
- (2) 社会的な見方・考え方を働かせ、事物を整理し、課題を解決する力を身につけます。
- (3) 社会的な事象に自ら進んで関わり、課題解決の過程を振り返りながら評価・改善しようとする力を身につけます。

2. 教材

【地理的分野】
 教科書：中学生の地理（帝国書院）、授業用ワークシート（先生の手作り）
 問題集：社会の自主学习地理（新学社）、トラスト（正進社）
 資料集：地理の資料（正進社）、中学校社会科地図（帝国書院）

【歴史的分野】
 教科書：新しい社会歴史（東京書籍）、授業用ワークシート（先生の手作り）
 問題集：社会の自主学习歴史（新学社）、トラスト（正進社）
 資料集：学び考える歴史（浜島書店）

これら全ては、自らが宿題等で必要とときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業の中でまず目標を設定して見通しを持ち、課題解決のために計画的に行動しましょう。また実行してみて「うまくいったこと」、「うまくいかなかったこと」を考え、その理由や原因を明らかにして次の学習に活かしましょう。
- ・授業の課題に取り組む際は、まず課題解決に必要な情報を教科書やインターネットを使って集めましょう。そして集めた情報を整理し、分かりやすくまとめて表現しましょう。
- ・自己調整シートで（+ 良かった点）（- 課題点）（→ 次に向けて）の振り返りを行いましょう。

4. 家庭学習の進め方

- ・社会の自主学习（問題集）やトラスト（問題集）、など活用して、自分のために計画的に宿題に取り組みましょう。
- ・前時に学んだこともプリントやロイロノートなどを使い復習しましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	地理、歴史に関する用語を理解しているか。 諸資料からさまざまな情報を読み取れるか。	・定期テスト
思考・判断・表現	知識や技能を活用して課題を解決することができるか。	・定期テスト ・振り返りシート
主体的に 学びに向かう態度	自らの学びを調整できる力を身に付け、粘り強く取り組んでいるか。	・振り返りシート

6. 学習計画

学期	学習内容 (単元)
1 学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第3部 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 身近な地域の調査</p> <p>第2章 日本の地域的特色</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第1節 九州地方</p> <p>第2節 中国・四国地方</p>
2 学期	<p>【地理的分野】</p> <p>第3部 日本のさまざまな地域</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第3節 近畿地方</p> <p>第4節 中部地方</p> <p>第5節 関東地方</p> <p>第6節 東北地方</p> <p>第7節 北海道地方</p> <p>【歴史的分野】</p> <p>第4章 近世の日本</p> <p>1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p> <p>2節 江戸幕府の成立と対外政策</p> <p>3節 産業の発展と幕府政治の動き</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>1節 欧米における近代化の進展</p> <p>2節 欧米の進出と日本の開国</p>
3 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>3節 明治維新</p> <p>4節 日清・日露戦争と近代産業</p>

1. 目標

- (1) 数量や図形などの概念や原理・法則などを理解するために、情報を集めることで、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- (2) 数学を活用し事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をつける。
- (3) 数学のよさを実感して生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返りながら評価・改善しようとする態度を身につける。

2. 教材

- ・教科書：未来へひろがる数学2 ・補助教材 OKRA ・ノート ・プリント
- ・ファイル ・タブレット

3. 授業の受け方

- ・授業の課題を考えている中で仲間や教師の発言、説明についてよく聞き、「なにがわかったか」「なにがわからなかったか」について整理する。また、他者と自分の考えと比べてどこが違うのか、相手はどう考えているのかを理解しようとする。
- ・課題を考えている中で困ったときは、まず周りに聞いてみる。その際、相手の話に対して「つまりこういうことだ」と要約しようとすることや、「たとえばこういうことを言っているのだ」と類似的に考えることができるように取り組むようにする。

4. 家庭学習の進め方

【予習の仕方】

- ・これから入る単元について教科書を見て、概要を掴む。その際に、わかること、疑問が残ること、わからないことを自分の中で整理しておく。（事前にノートにメモをしたり、ラインを引いたりする）
- ・これから入る単元について自分の知っていることやイメージするものをノートに書きだしておく。
※その際に教科書やワークを用いてもよい

【復習の仕方】

- ・その日の授業で「わからなかったこと、間違えたこと、疑問に思ったこと」について振り返り、ノートにまとめ、次回の授業で、「何を意識して学ぶか」を自分の中で整理しておく。
 - ※特に間違えたことは、家庭学習にて力の定着を図る。（ワークや授業内容の振り返り、宿題など）
 - ・ある単元について、予習段階から授業を受けたあとの知識や概念の変容をまとめる。
 - ・基礎的な知識・技能について反復練習をする。
- 「みんなの学習クラブ」を利用して1年生の復習や2年生の予習を家庭学習で行っていきこう。

家庭学習の「けテぶれ」のサイクル

け（計画）・・・自分の目標や意気込みをかく

テ（テスト）・・・問題を解く

ぶ（分析）・・・何が得意で何が苦手かを考える

れ（練習）・・・分析をもとに、苦手を克服するための練習をする（まとめる）

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の方法
知識・技能	数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。またそれらの事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けられているか。	単元テスト 小テスト レポート 定期テスト 授業中の取組の様子
思考・判断・表現	数と式・図形・関数・データの活用において、新しい課題に対して既習事項と関連づけて考察し、表現することができるか。また、日常生活における課題を数学的に捉え、解決することができるか。	レポート プレゼンテーション 単元テスト 定期テスト 授業中の取組の様子
主体的に学びに向かう態度	知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに熱心に取り組んでいるか。また、それらを身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか。 それぞれの学習内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしているか。また、学んだことを活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしているか。	振り返り ワークシート レポート 単元テスト 定期テスト プレゼンテーション 授業中の取組の様子

6. 学習計画

学期	学習内容	
1 学期	1章 式の計算	1節 式の計算 2節 文字式の利用
	2章 連立方程式	1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用
	3章 一次関数	1節 一次関数とグラフ
2 学期	3章 一次関数	2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用
	4章 図形の調べ方	1節 平行と合同 2節 証明
	5章 図形の性質と証明	1節 三角形 2節 四角形
3 学期	6章 場合の数と確率	1節 場合の数と確率
	7章 箱ひげ図とデータの活用	1節 箱ひげ図

1. 中学校での目標

自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な力をつけます。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験の技能を身につけます。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。
- (3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：未来へひろがるサイエンス 理科ノート 問題集：学習整理

プリント：トラスト iプリ、iプリチェック

教科書と理科ノートは家庭学習のために持ち帰りましょう。問題集やプリントは自分の知識の定着のために適宜使ってください。

3. 授業の受け方

授業中の「考える課題」はよく考え、他の人の考えをよく聞き自分の考えと比べて良い点を取り入れましょう。

授業中の「調べる課題」は、教科書や資料集の目的とする部分だけではなく関連する部分もよく読みましょう。「あとで」ではなく「そのときに（授業中に）」おぼえるようにしましょう。

実験、観察は結果を予測しながら行い、結果が出たら目的を見直して「何がわかるのか」を考えましょう。

分からない問題に出会ったときは、どこが分からないのか捉えて、周りの生徒や先生に聞けるようにしましょう。

4. 家庭学習の進め方

予習よりも復習をしっかりしましょう。その日にやった授業プリントや教科書の該当する部分を読みましょう。授業中の課題の答えを別の紙にもう一度書いてみましょう。

「けテぶれ」の手順で、宿題プリントや問題集、「みんなの学習クラブ」のiプリとiプリチェックをやることで、忘れてしまったところや理解が不十分なところを見つけましょう。忘れてしまったところや理解が不十分なところを調べたり聞いたりしましょう。

定期テスト前には、授業プリントの「まとめ」や「確認しよう」をやり直したり、宿題プリントや問題集をやり直したりしましょう。特に、以前やったときに間違えたところができるようになっているかどうか確認して、できるようになっていなければ早めに調べたり聞いたりしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	・用語、法則、観察実験の技能、観察実験結果の記録・整理のやり方等を身につけているか	定期テスト 観察実験実技テスト 単元末テスト
思考・判断・表現	・観察実験の計画を正しく立てることができるか ・観察実験結果から正しい結論を導き出せるか ・上の2つを他の人に伝わるように表現できるか ・基礎的な知識を組み合わせることにより、より難しい知識を導き出すことができるか	定期テスト 単元末テスト レポート 授業プリント 授業の振り返り
主体的に 学びに向かう態度	・知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに熱心に取り組んでいるか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしているか ・自然現象等に進んで関わろうとしているか ・自然現象等について、なぜそうなるのかを考えたり、自分の考えを振り返ったりするなど、科学的に考えようとしているか	定期テスト 単元末テスト 宿題プリント ワーク レポート 授業プリント 授業中のようす 授業の振り返り

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【生物の体のつくりとはたらき】 植物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ 【化学変化と原子・分子】 物質の成り立ち 物質の表し方
2 学期	さまざまな化学変化 化学変化の物質の質量 【地球の大気と天気の変化】 地球をとり巻く大気のように 大気中の水の変化 天気の変化と大気の動き 大気の動きと日本の四季
3 学期	【電流とその利用】 電流の性質 電流の正体 電流と磁界

1. 中学校での目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる技能や知識を身につけ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育もう。

- (1) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を養います。
- (2) 音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにします。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度や豊かな情操を養います。

2. 教材

教科書：音楽2・3上、 器楽 音楽のハーモニー 曲集：ジョイフルソング

全ての教材は必要なときのみ持ち帰り、ふだんは学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- 学習課題を的確に把握し、それを解決するために情報を集めましょう。
 - ・疑問に思ったことやわからなかったことから整理して課題を解決しましょう。
 - ・歌詞の内容や曲想を感じ取って自分の中から外に向かって表現しよう。
 - ・音楽の特徴を感じ取り、表現を工夫しよう。
 - ・多種多様な音楽に興味・関心を持って聴こう。
- 自分のいいところを伸ばし、苦手なところにも挑戦しよう。
 - ・わかったこと、課題を解決できたことに自信を持とう。
 - ・積極的に表現しよう。

4. 家庭学習の進め方

- 宿題や課題に向けて練習をしっかりと取り組もう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に記載されている音楽用語の意味を覚えたか。 音楽を構成している要素を理解し曲の特徴を感じ取ることができたか。 音程を正確にとらえ歌唱することができたか。 楽器の特徴を知り、楽譜通りに楽器を演奏することができたか。 	定期テスト 実技テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の基礎を知り、どのように表現したいかを考えることができたか。 グループ学習において他者の意見をよく聞き自分の考えを発表することができたか。 曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ったり音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができたか。 	定期テスト 授業プリント 授業中のようす
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけることに楽しみながら取り組んでいたか。 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを見つけ、それを解決しようとしていたか。 音楽に対して関心。意欲を持ち、主体的、協働的に音楽活動に取り組んでいたか。 	宿題プリント 授業プリント 授業中のようす

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 二部合唱「やさしさに包まれたなら」・三部合唱「時を越えて」 歌唱曲「サンタルチア」 鑑賞「小フーガ」
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールに向けての取り組み 鑑賞「交響曲第五番ハ短調」 器楽「箏」「和太鼓」
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 創作「リズムアンサンブル」 歌唱「日本の歌」 卒業式合唱練習

1. 中学校での目標

表現および鑑賞の幅広い活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めます。
- (2) 対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばします。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高めます。

2. 教材

教科書：美術2、3上 美術資料集 絵具セット 活用：(自主教材アイデア用紙・がんばりシート)
教科書と資料集、絵具セットは学校へ置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業で指示される制作のポイントを理解し、意欲的に制作課題に取り組もう。
- ・制作中のつまずきは誰しもあります。
自分の良いところを発見し、活かし、最後まで諦めずに取り組もう。
- ・アイデア用紙で、自分の制作物のテーマや構想を明確にして課題に取り組もう。
- ・自ら課題を見つけ、制作時間を意識し、計画的に自己完成度の高い作品を生み出していこう。
- ・自分の意見や感想を述べられるようにしよう。また、仲間の表現も尊重し、協力、協同を心がけよう。
- ・出来るようになったこと、発見したことは、自分の創造力の高まりです。
自信をもって、さらに自分の能力やセンスを磨いていこう。
- ・美術室、使用する道具、作品を大切に扱い、道具を安全に使用しよう。
- ・忘れ物をして制作活動が停止しないようにしよう。

4. 家庭学習の進め方

- ・制作にあたって、作品づくりに活用できそうな資料を自分で用意をする必要があります。
作品づくりのためのアイデアをふくらませておこう。
- ・美術館や博物館に実際に行って、多くの芸術作品とふれあうなど、鑑賞の機会をつくっていこう。
実際に見る、感じるのがとても大切です。
- ・テレビで美術番組を観てみましょう。
NHK 『日曜美術館』
Eテレ 『MIXびじゅチューン!』、『デザインミュージアムをデザインする』
『no art, no life』
テレビ愛知 『新美の巨人たち』
BS日テレ 『ぶらぶら美術館・博物館』

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表している。 材料や用具の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。 	活動内容と質（表現に活かせる知識・表現につながる技能の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 伝える目的や、使う目的、社会との関わり、などの条件を基に主題を生み出し効果と美しさの調和を総合的に考え表現の構想を練っている。 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、主体的に見方や感じ方を深めようとしている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして見方や感じ方を深めている。 	活動内容と質（思考力・判断力・表現力の質） 活動内容・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・意見表明等
主体的に 学びに 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 	授業中の態度（主体的な創作姿勢） 活動姿勢・アイデア用紙・がんばりシート・作品と解説文・準備物等

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【あなたの美を見つけて】 【芸術はみんなのもの】 【視点の冒険】 自分にとっての太陽・月 【心のイメージを形に】 自分にとっての太陽・月 【構図に思いをのせて】 自分にとっての太陽・月 【日本美術と世界の美術の歩み】 建築物 【日暮らしに息づくパブリックアート】 建築物 【ひと目で伝えるための工夫】 思いを伝える 【その一枚が人を動かす】 思いを伝える
2 学期	【憩いを生み出す場所】 建築物 【立体を描く】 建築物 【デザインで人生を豊かに】 建築物 【文化の出会いがもたらしたもの】 建築物 【手から手へ受け継ぐ】 建築物
3 学期	【想像力をもってつくられた世界】 【なんでこれが美術なの】 想像の世界 【色彩の特徴を深く知る】 想像の世界 【日本の伝統色】 想像の世界 【学びを支える技法】 想像の世界

1. 中学校での目標

生涯にわたって、心身の健康を保持増進し、楽しさや喜びを味わおうとするための力をつけます。

- (1) 健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけます。
- (2) 運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて思考し判断して、相手に伝える力を養います。
- (3) 心と体を一体として捉え、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養います。

2. 教材

【実技】

- ・ 体育実技 ・ 上下体操服 ・ 体育館シューズ ・ 動きやすい外靴
- ・ 必要に応じてタオルや水筒など

【保健】

- ・ 保健の教科書 ・ 保健ノート

【共用】

- ・ ファイル

*持ち帰りではありませんが、各種ルールなどを体育実技で確認しておきましょう。

3. 授業の受け方

- ・ 各種目、ルールを調べたり、技の名称を覚えたりしながら、積極的に情報を集めましょう。
- ・ グループ活動では、リーダーを中心に「なぜ」を共有して見通しを持ち、「どうすればよいか」を考え、計画を立て、それを工夫しながら活動しましょう。保健では、実生活と結び付け、より豊かな生活のためには「どうすればよいか」考えながら授業に参加しましょう。
- ・ 運動が得意な人も、苦手な人も授業を楽しめるように、周りとは交流することも、情報を集めることの一つです。

4. 家庭学習の進め方

- ・ 授業の中の課題をよりよいものにするために、インターネットなどで情報を収集してみましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種目に応じた技能・知識 ・ 健康・安全の留意点についての理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ 各種目での活動
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況に応じた技能の選択 ・ 現状の分析 ・ 上達するための工夫 ・ グループ活動での言動 ・ 他者に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニゲーム ・ 振り返りシート ・ 授業に取り組む姿
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への主体的な取り組む様子 (課題解決に向けての手立てを考えられる) ・ グループ活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に取り組む姿 ・ 振り返りシート

6. 学習計画

学期	学習内容 (単元)
1 学期	<p>【実技】 集団行動、新体力テスト、陸上競技 (短距離・ハードル走)、球技 (ネット型)</p> <p>【保健】 傷害の防止、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p>
2 学期	<p>【実技】 球技 (ベースボール型)、器械運動 (マット)、武道 (柔道または剣道)、陸上競技 (長距離走)</p> <p>【保健】 健康な生活と病気の予防、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p>
3 学期	<p>【実技】 球技 (ゴール型)、ダンス</p> <p>【保健】 傷害の防止</p>

1. 中学校での目標

技術によってよりよい生活や持続可能な社会を作るために必要な力をつけます。

- (1) 生活や社会で利用されている技術についての理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実習を行う中で見つけた、課題を解決する力を養います。
- (3) 正しく技術を工夫し、新しいものを創り上げようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） 授業プリント

テスト前など必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。

分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。

実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。

実習は危険を伴う作業もあります。周りに気を付けつつ、十分に注意して作業を行いましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識が理解できているか ・ 道具の基本的な扱いができているか 	定期テスト 行動観察・作品
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物事に対して多面的に見ることができているか ・ 課題を見つけられたか ・ 課題を改善する考えを持ち、実現することができたか 	定期テスト 行動観察 作品レポート
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に授業を取組んでいるか ・ 事象に対して新たな課題を見出そうとしているか ・ 与えられた課題を解決しようとしているか ・ 自分の取り組みを振り返り次につなげることができているか 	定期テスト 授業態度 行動観察・作品

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【情報の技術の原理・法則と仕組み】 情報のデジタル化 情報通信ネットワーク 情報セキュリティ
2 学期	【計測・制御のプログラミングによる問題解決】 計測・制御のプログラミングとは プログラムの製作
3 学期	【双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決】 双方向性のあるプログラミングとは コンテンツの作成

1. 中学校での目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活を実現するために必要な力をつけます。

- (1) 生活の自立に必要な基礎的な理解を深め、それに関わる技能を身につけます。
- (2) 実践・実習を行い、課題を解決する力を養います。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、生活を工夫し創造しようとする態度を養います。

2. 教材

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 授業プリント

必要だと思ったときのみ持ち帰り、普段は学校に置いておいてかまいません。

3. 授業の受け方

- ・授業中の自分で考える課題はよく考え、自分なりの意見を持つようにしましょう。また、他の人に意見を聞き、取り入れることで自分の意見をより良いものにしましょう。
- ・分からないことは先生や他の人に聞いてみてください。
- ・実習中はどのようにしたらよいか、なぜそのようにするのかを集めた情報から考えて作品に繋げていきましょう。
- ・振り返りでは、（+）理解できたところ、（-）理解できなかったところ、（→）理解を深めるために次に何をするかを分析し、自分で計画して学習に取り組めるようにしましょう。

4. 家庭学習の進め方

授業中に気になったことや知りたいことは積極的に書籍やインターネットで調べるようにしましょう。

5. 評価

評価の観点	評価のポイント	評価の材料・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識が理解できているか。 ・道具の基本的な扱いができていないか。 	定期テスト 作品 授業中の様子
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対して多面的に見ることができているか。 ・課題を見つけられたか。 ・課題を改善する考えを持ち、実現することができたか。 	作品レポートの考察 作品レポート 授業中の様子
主体的に 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業を取組んでいるか。 ・事象に対して新たな課題を見出そうとしているか。 ・与えられた課題を解決しようとしているか。 	振り返り 作品 授業中の様子

6. 学習計画

学期	学習内容（単元）
1 学期	【私たちの食生活】 食品の選択と購入 調理と食文化
2 学期	【私たちの消費生活と環境】 私たちの消費生活 環境に配慮した消費生活
3 学期	【私たちの住生活】 住まいの役割と安全な住まい方

1. 中学校での目標

えいごでコミュニケーションをするために必要な力をつけます。

- (1) えいごの音声や語彙、表現、文法等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションで活用できる技能を身につけます。
- (2) もくてき ばめん じょうきょう おう に応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養います。
- (3) がいこくご はいけい ぶんか たい に対して、ふか あいて 相手のことをかんが えながら、えいご をもち コミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

2. 教材

教科書：NEW HORIZON English Course 2、 ノート：Study Notebook

ワーク：ジョイフルワーク プリント：基礎を築く 英語ファイル

基本的にファイル以外はすべて持ち帰る。家庭学習によって、使わない物があれば置いていってもよい。

3. 授業の受け方

- ・授業を大切にしましょう。
- ・英語はトレーニングの教科です。繰り返し何度も使うことで上達します。
- ・失敗を恐れず、英語で話したり書いたりすることに挑戦しましょう。
- ・質問タイムや発表タイムでは、積極的に発言しましょう。他の人の質問や発表をよく聞き、自分の単語数や表現を増やしていきましょう。
- ・音読はしっかり声を出して発音しましょう。
- ・発音や意味がわからない単語や文があるときは質問し、授業中に解決しましょう。
- ・メリハリをつけて授業を受けましょう。(友達に相談なのか、私語なのか)

4. 家庭学習の進め方

予習よりも授業の復習をしっかりとしましょう。

- ① 授業で学習した教科書の単語を発音し、本文の音読をしましょう(目標：10回以上)。
(QRコードやデジタル教科書を活用し、聞いたりリピートしたりしましょう。)
- ② 授業で学習した単語と本文の指定された部分をノートに書く練習をしましょう。
- ③ 授業で学習した内容について、「みんなの学習クラブiプリ」や「ジョイフルワーク」などを
行うときには、目標をもって問題に取り組み、答え合わせをしましょう。なぜ間違えたのかを
分析し、正しく解答できるまで練習しましょう。
- ④ 定期テスト前には、教科書・ジョイフルワーク・プリントの問題に3回以上取り組み、以前やっ
たときに間違えたところができるようになってきているかを確認しましょう。

5. 評価

ひょうか かんてん 評価の観点	ひょうか 評価のポイント	ひょうか ざいりょう ほうほう 評価の材料・方法
ちしき ぎのう 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語に関する知識や英語を正確に使っているか。 身につけた英語の知識を正確に使っているか。 	小テスト パフォーマンステスト 単元テスト 定期テスト
しこう はんだん 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。 	パフォーマンステスト 単元テスト 定期テスト 授業中の様子
しゅたいてき 主体的に まな び 学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手のことを考えながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。 知識、技能、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分はどこができない・わからないのかを分析し、それを解決しようとしているか。 	パフォーマンステスト 振り返りシート 自主学習の分析 授業中の様子

6. 学習計画

がっき 学期	がくしゅうないよう たんげん 学習内容 (単元)
がっき 1 学期	【 Unit 0～Stage Activity 1】 <ul style="list-style-type: none"> 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 好きな食べ物やその理由について、紹介する。 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりする。 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりする。 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書く。 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書く。
がっき 2 学期	【 Unit 4～Let's Read 2】 <ul style="list-style-type: none"> 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 身近なことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりする。 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりする。 留守番電話を聞き、主な内容を理解する。 身近なことについて、特徴を比較しながら説明する。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をする。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取り、気持ちをこめて音読する。
がっき 3 学期	【 Let's Listen 6～Let's Read 3】 <ul style="list-style-type: none"> 商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取る。 各地の世界遺産を紹介する。 自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝える。 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取る。 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝える。 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解する。